

2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年11月8日

JAMCO Vision 2030



技術と品質を翼に、快適で持続可能な未来へ

航空業界を基軸に培ってきた技術と品質を、先端技術とイノベーションにより進化させながら更なる事業領域の拡大を目指し、航空宇宙産業を通じた価値創造企業グループとして、快適で持続可能な社会へ貢献し続ける。

Always Fly Together with transforming our business by engineering evolution for a sustainable world

- この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度に関するさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績はこれらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。
- この資料における数値について、記載金額は、表示桁未満を切捨てしており、増減率(%)は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。
- 本資料を(株)ジャムコの許可無く転載・複写することを禁じます。又、本資料を使用することにより生じたいかなる損害について(株)ジャムコは一切責任を負いません。

2024年3月期 第2四半期決算の状況

- 03 | グループ連結P/L
- 04 | 連結経常利益の前年同期比差異要因
- 05 | セグメント別 売上高・経常利益-①(前年同期比)
- 06 | セグメント別 売上高・経常利益-②(前年同期比)
- 07 | グループ連結B/S
- 08 | グループ連結C/F
- 09 | グループ各社の状況 (2024年3月期/上期)

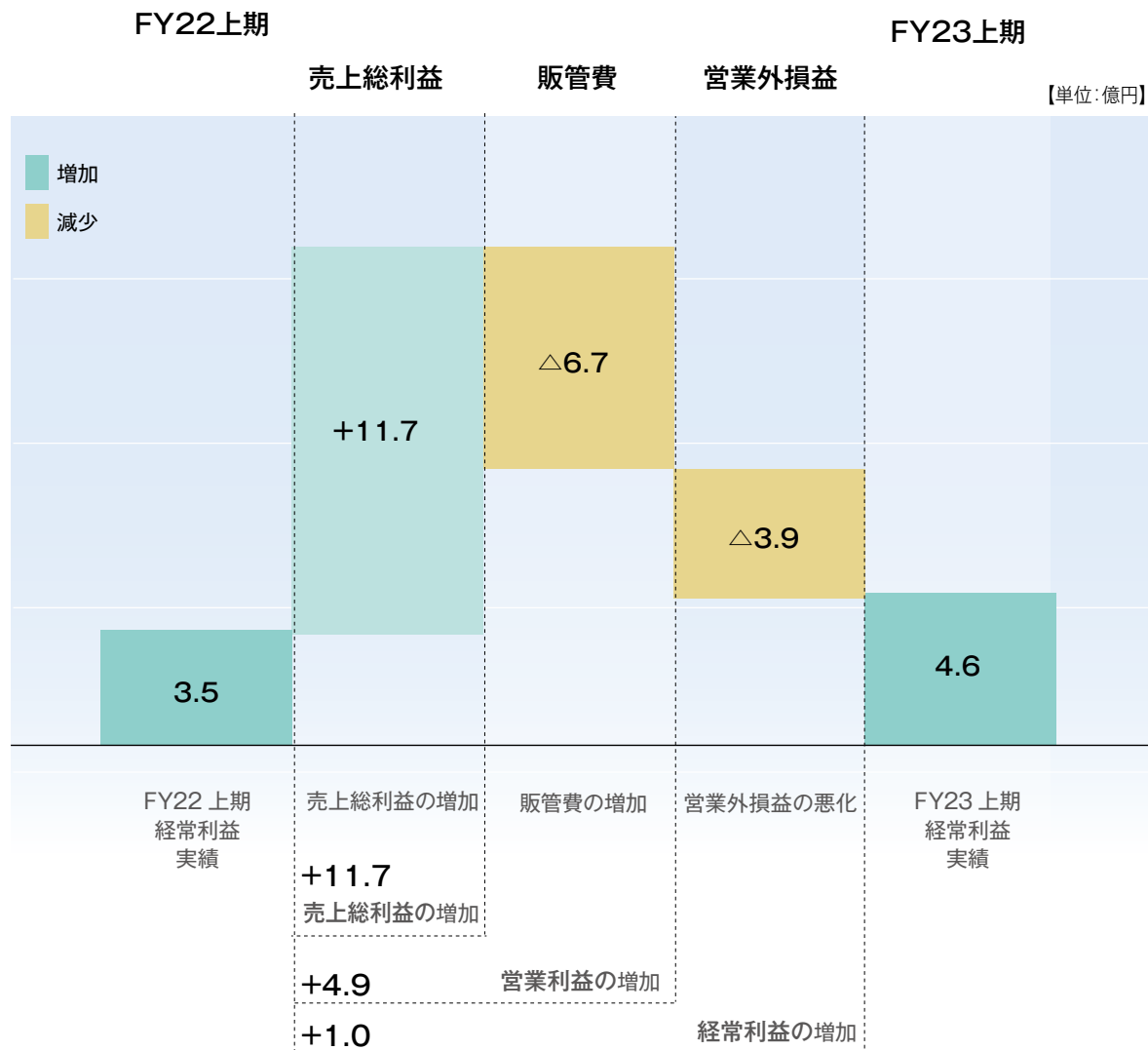
【単位:百万円】

	FY22上期 (実績)	FY23上期 (実績)	前年同期比 (増減)
売上高	17,042	27,243	10,200
売上総利益	4,075	5,247	1,172
販管費	3,793	4,467	673
営業利益	281	780	499
営業外損益	73	△ 317	△ 390
経常利益	354	463	108
特別損益	37	△ 12	△ 49
税金等調整前 四半期純利益	392	451	58
親会社株主に帰属する 四半期純利益	655	960	305
1株当たり四半期純利益 (円)	24.42	35.80	—
売上為替レート (円/USドル)	131.50	138.69	—

連結経常利益の前期比差異要因



■ 前期比 +1.0億円



Point

■ 売上総利益(+11.7億円)

- 運航機数増加によるスペアパーツ販売の増加や為替レートが前期より円安で推移したことなどによるもの

■ 販管費(△6.7億円)

- 販売手数料の増加 △2.9億円
- 人件費の増加 △2.0億円
- 試験研究費の増加 △0.9億円
- その他 △0.9億円

■ 営業外損益(△3.9億円)

- 支払利息の増加 △3.1億円
- 為替差益の減少 △2.2億円
- その他 +1.4億円

セグメント別 売上高・経常利益-① (前年同期比)



【単位:百万円】

	売上高			経常利益		
	FY22上期 (実績)	FY23上期 (実績)	前年同期比 (増減)	FY22上期 (実績)	FY23上期 (実績)	前年同期比 (増減)
航空機内装品	10,809	17,369	6,560	2,098	3,202	1,104
航空機シート	461	3,950	3,489	△ 1,696	△ 2,690	△ 993
航空機器製造	2,164	2,205	40	△ 101	△ 151	△ 50
航空機整備	3,606	3,715	109	52	102	50
その他	1	1	0	2	0	△ 2
合計	17,042	27,243	10,200	354	463	108

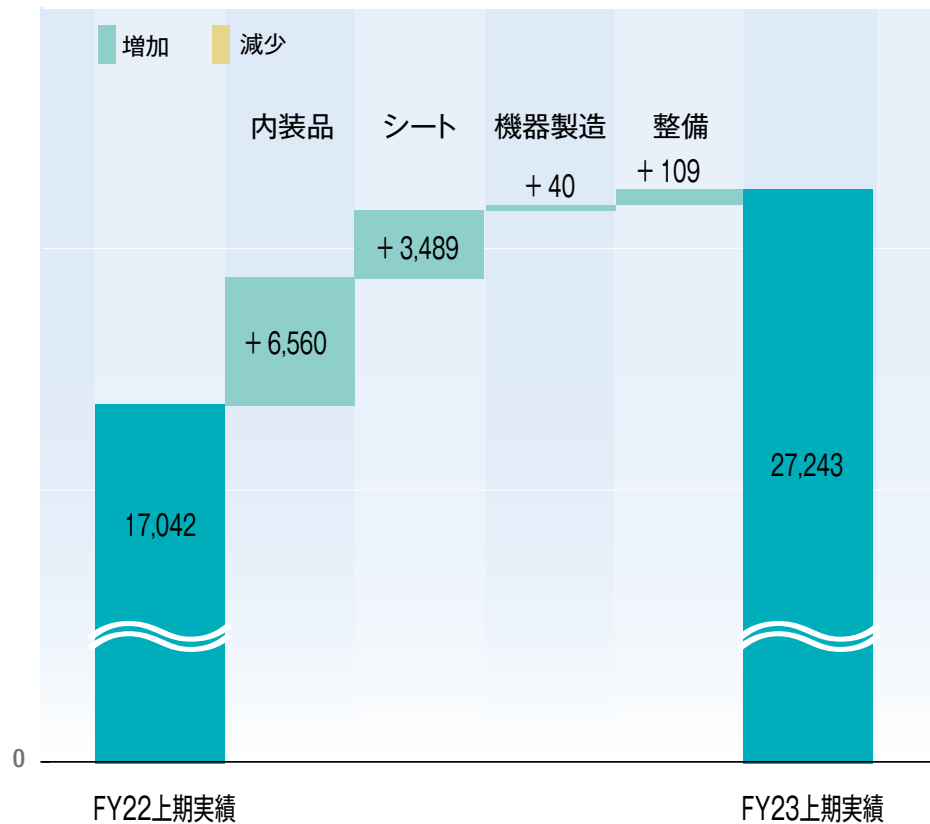
(注)「その他」はオレンジジャムコの事業を含んでおります。

セグメント別 売上高・経常利益-② (前年同期比)



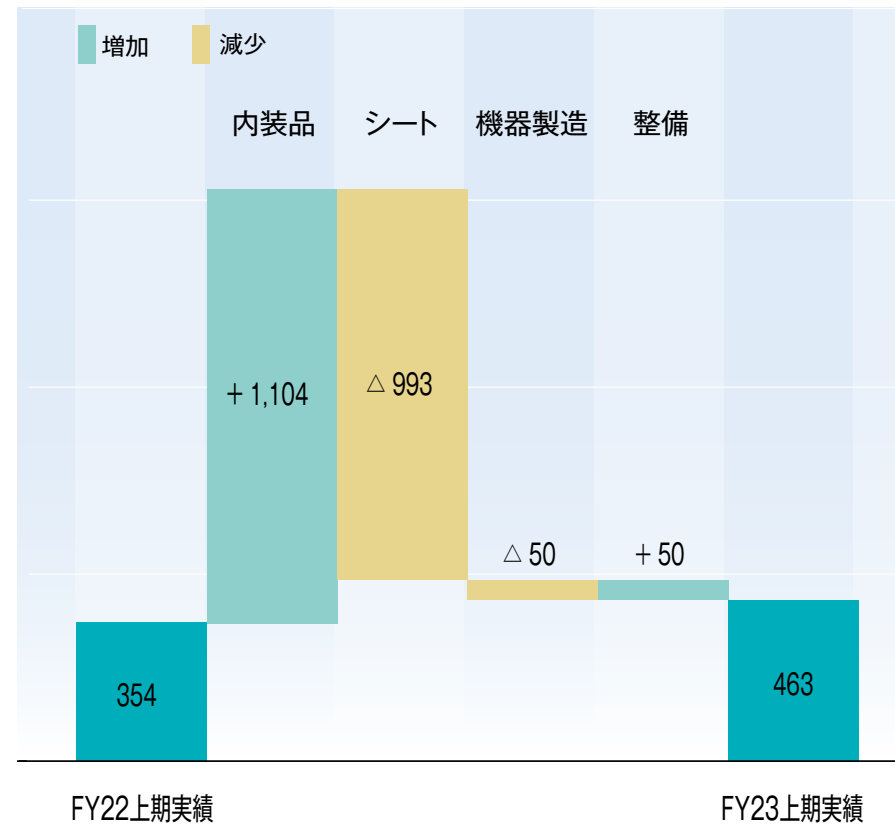
売上高

【単位:百万円】



経常利益

【単位:百万円】



Point

- 内装品は、ボーイング787型機向け製品の出荷が再開したことやスペアパーツ販売が増加
- シートは、ボーイング777型機向けビジネスクラス・シート「Venture」の出荷開始により増加
- 機器製造は、熱交換器等装備品の出荷が増加
- 整備は、機体整備において完成工事が増加

Point

- 内装品は、スペアパーツ販売の増加に加え、外貨建て売上高の円安による効果などにより増加
- シートは、他機種展開に伴う初期費用の増加、米国におけるインフレーションや円安によるドル建てコストの上昇などにより悪化
- 機器製造は、原価高の影響などにより悪化
- 整備は、売上高の増加などにより増加

【単位:百万円】

科目	FY22 末 2023年3月31日現在	FY23 2Q 末 2023年9月30日現在	増減
〈資産の部〉			
流動資産			
現金及び預金	8,334	8,260	△ 73
受取手形、売掛金及び契約資産	17,615	15,471	△ 2,143
棚卸資産	48,732	54,293	5,560
その他流動資産	2,639	2,996	357
流動資産合計	77,321	81,022	3,700
固定資産			
有形固定資産	11,590	11,587	△ 2
無形固定資産	1,807	2,018	211
投資その他の資産	10,074	10,778	703
固定資産合計	23,472	24,385	912
資産合計	100,794	105,407	4,612

科目	FY22 末 2023年3月31日現在	FY23 2Q 末 2023年9月30日現在	増減
〈負債の部〉			
流動負債			
支払手形及び買掛金	4,719	5,805	1,085
電子記録債務	2,997	4,307	1,309
短期借入金	50,022	52,057	2,034
1年内返済予定の長期借入金	1,060	60	△ 1,000
前受金	8,374	8,459	85
工事損失引当金	4,280	4,682	402
その他流動負債	5,577	5,214	△ 363
流動負債合計	77,032	80,586	3,554
固定負債			
長期借入金	1,250	1,220	△ 30
その他固定負債	9,128	8,980	△ 148
固定負債合計	10,378	10,200	△ 178
負債合計	87,411	90,786	3,375
〈純資産の部〉			
純資産合計	13,383	14,620	1,236
負債及び純資産合計	100,794	105,407	4,612

Point

- 受取手形、売掛金及び契約資産は、売掛金の回収により減少
- 棚卸資産は、顧客都合による納入スケジュールスライドに伴い増加

- 自己資本比率 12.9% → 13.5%

【単位:百万円】

	FY22上期	FY23上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,097	774
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 673	△ 745
フリー・キャッシュ・フロー	△ 1,771	29
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,525	△ 816
現金及び現金同等物の増減	1,476	△ 194
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,651	6,764

Point

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加があったものの、売上債権の減少や税金等調整前四半期純利益などによりキャッシュインフロー。

グループ各社の状況



【単位:百万円】

	当社	新潟 ジャムコ	宮崎 ジャムコ	中条 ジャムコ	ジャムコ アメリカ	ジャムコ エアロデザイン エンジニアリング	ジャムコ シンガポール	ジャムコ フィリピン	ジャムコ エアロ マニユファク チャリング	徳島 ジャムコ	ジャムコ エアロテック	オレンジ ジャムコ
売上高	24,012	1,297	310	506	10,646	294	—	383	520	389	244	62
営業利益	1,280	△ 11	12	42	△ 451	△ 25	△ 2	81	3	12	18	1
経常利益	1,106	△ 8	11	40	△ 759	11	△ 2	81	3	12	18	1
四半期純利益	1,687	△ 5	11	26	△ 752	9	△ 13	70	1	5	14	1

(注)ジャムコシンガポールは、清算手続き中

技術を翼に世界の空へ

 **Jamco**
ALWAYS FLY TOGETHER



Always Fly Together